

第2課 日本語の学習〈話してみよう〉

リタ：キムさん、ちょっと教えてもらいたいんですが、これ…。

キム：はい、何ですか。ああ、学校からね。保護者面談のお知らせですよ。

リタ：ああ、保護者面談…。いつですか。

キム：来週火曜日です。

リタ：火曜日か、また夫に行ってもらいます。本当はあまり迷惑かけたくないけど…。

キム：そんな、ご主人は迷惑だなんて思っていませんよ。娘さんのことですからね。

リタ：でも、私は学校のお知らせも読めないし、先生の話も難しくてわからないし…。質問したり、相談したりする人がほかにいませんから、いつも夫に、ね…。

キム：そうですか。それなら、PTA の活動に参加してみたらどうですか。保護者同士、仲良くなれるかもしれませんよ。

リタ：でも、もっと日本語がペラペラになって、漢字も読めるようにならないと…。

キム：今も上手ですよ。漢字はノートに書いて練習したらいいです。手伝いますよ。

リタ：ありがとうございます。日本語が上手になったら、仕事もしたいんです。

キム：へえ、どんな仕事ですか。

リタ：介護ヘルパーです。

キム：それはいいですね。漢字の勉強も仕事の役に立ちますね。一緒にがんばりましょう。

第2課 日本語の学習〈読んでみよう〉

リタさんは小学生の娘がいます。小学校からお知らせをもらいましたが、よくわからなかったので、キムさんに見てもらいました。それは、保護者面談のお知らせでした。来週火曜日に学校へ行って、先生と、娘のことを話します。リタさんは夫に行ってもらうことにしました。日本語がわからないかもしれないと心配だったからです。

リタさんは、いつも夫に頼んでしまうので、悪いと思っています。でも、ほかに相談する人がいません。キムさんはそれを聞いて、PTAの活動に参加してみることを勧めました。でも、リタさんはもっと日本語が上手にならないといけないと答えました。リタさんは日本語がペラペラになって、漢字も読めるようになりたいと思っています。そして、介護ヘルパーの仕事がしたいと言っています。キムさんはリタさんの漢字の勉強を手伝おうと思っています。